

関連イベント

ツアー

只見川水源地「尾瀬」をめぐるガイド付き散策ツアー

〈日 時〉 8月16日(土) 9:00～16:00(予定)
〈場 所〉 御池休憩所前(福島県南会津郡檜枝岐村字燧ヶ岳1)
〈参加費〉 2,000円
〈人 数〉 15名程度 **事前申込制**

- 必須装備
登山靴、雨具、ザック、ザックカバー、防寒着、帽子、携帯電話、ヘッドライト、ティッシュ、飲み水、行動食、ゴミ袋、お金、健康保険証、常備薬、昼食
- あったら便利なもの
スパッツ、手袋、ストック、モバイルバッテリー、サングラス、エマージェンシーシート、携帯トイレ、日焼け止め

奥会津を代表する河川只見川の源流といわれる「尾瀬」。今回は尾瀬ガイド協会所属「尾瀬日和」の矢巻さんのガイドを聞きながら、尾瀬の大自然をめぐります。昼食休憩をとりますので、各自昼食をご準備ください。
※本イベントは「尾瀬日和」主催で開催します。

ツアー

本名ダム見学ツアー

〈日 時〉 10月11日(土) 13:00～15:00
11月8日(土) 13:00～15:00
〈場 所〉 東北電力奥会津水力館「みおり」
(福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933)
〈参加費〉 無料
〈人 数〉 15名程度(小学生以上対象) **事前申込制**

※申込期限 各回実施日の1週間前まで

東北電力奥会津水力館「みおり」で水力発電の仕組みや歴史について学んだ後、土木学会選奨土木遺産に認定されている本名ダムへ行ってダムの内部を見学します。東北電力職員からの解説を聞きながらのダム見学です。またとない機会にぜひお越しください。
※見学場所移動の際は自家用車で各自移動いただきます。

ツアー

やないづ縄文館 縄文時代の漁撈具展解説&バックヤードツアー

〈日 時〉 8月24日(日) 10:00 / 9月14日(日) 10:00
10月5日(日) 10:00
〈場 所〉 やないづ縄文館～土器とくらしのミュージアム～
(福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙151)
〈参加費〉 無料
〈人 数〉 各回10名 **事前申込制**

※申込期限 各回実施日の1週間前まで

柳津町文化財専門アドバイザー長島雄一氏による展示解説を聞きながら、やないづ縄文館のバックヤードも見学します。実際に縄文土器に触れたりすることもできます。

ツアー

田子倉ダム見学ツアー

〈日 時〉 8月8日(金) 13:30～15:30
8月19日(火) 13:30～15:30
〈場 所〉 J-POWER只見展示館
(福島県南会津郡只見町大字只見字赤沢下2476-1)
〈参加費〉 無料
〈人 数〉 30名程度(小学生以上対象) **事前申込制**

※申込期限 各回実施日の1週間前まで

動きやすい靴 ※サンダル、クロックス不可

土木学会選奨土木遺産に認定され、国内トップクラスの出力を誇る田子倉ダムの施設見学を行います。J-POWER只見展示館で水力発電について学習した後に田子倉ダムに移動し施設見学を行います。またとない機会ですので、ぜひ参加ください。

関連イベントについては、右記お問い合わせ先に、電話もしくはメールにて参加申し込みを行ってください。申し込みがお済みでない方は参加できませんのであらかじめご了承ください。

講演

講演会「奥会津のイカダ流送について」 講師：渡部 康人(奥会津博物館 文化財専門員)

〈日 時〉 9月28日(日) 13:00受付開始 13:30～15:30
〈場 所〉 奥会津博物館 山王茶屋
(福島県南会津郡南会津町糸沢字西沢山3692-20)
〈参加費〉 無料
〈人 数〉 80名 **事前申込不要**

奥会津では伐採した木材を川を利用し新潟まで運搬、それを販売することで多くの収益を得ていたとされる。そんな流送文化についての歴史を古文書をはじめとした文献から紐解く。南会津町水引に伝わる伝統芸能「水引十人芸」の披露会も同時開催です。希望者は講演会終了後展示解説会開催。

体験

奥会津伝統食体験会 ― 秋霧に坐す、圓藏寺庫裡の川膳 ―

〈日 時〉 11月1日(土) 昼食での体験を予定 ※詳細はお申込の際にご確認ください
〈場 所〉 福満虚空藏菩薩圓藏寺
(福島県河沼郡柳津町柳津字寺家町甲176)
〈参加費〉 未定 ※詳細はお申込の際にご確認ください
〈人 数〉 20名 **事前申込制**

お申し込み先 ※9月1日より受付開始
0241-42-3511(柳津町中央公民館)

開創1200年の歴史を有する圓藏寺の庫裡にいただく、奥会津の自然と祈りが息づく特別な伝統食体験です。只見川の流れに寄り添い、千二百年の時を刻んできた圓藏寺。その庫裡(くり)は、かつて多くの僧と旅人を迎え、食を通じて祈りと暮らしをつないできました。本企画では、只見川の恵みと、北前船がもたらした乾物文化が融合した「川膳」を、静謐な庫裡にて、特別な膳としてご提供します。祈りの空間に坐し、山・川・海の恵みに向き合う静謐なひととき。一期一会の食体験を、どうぞご堪能ください。

体験

水風船でアート！

〈日 時〉 8月2日(土) 10:00～11:00
〈場 所〉 やないづ町立斎藤清美術館
(福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187)
〈参加費〉 無料
〈人 数〉 20名程度 **事前申込不要**

※汚れてもよい服・タオル・着替え

「水・百態」に合わせて、水と遊ぶワークショップを開催します！色とりどりの水が入った風船を投げてみると…流れ混ざりあう色水、そこから生まれる思いがけない色やかたち。変幻自在の水が生み出すアートを楽しみませんか。

昔語り

奥会津のむかし話～川～ トークセッション(斎藤美智子×五十嵐七重)

〈日 時〉 8月23日(土) 13:30～16:00
〈場 所〉 三島町交流センター山びこ
(福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418)
〈参加費〉 無料
〈人 数〉 100名程度 **事前申込制**

奥会津7町村の各地から語り部が集い、その土地ごとに伝わる昔語りを披露していただきます。終了後、斎藤美智子氏(日本民話の会会員)と五十嵐七重氏(三島語り部ちゃんちゃんこ)のトークセッションを行います。

お問合せ・お申し込み先

只見川電源流域振興協議会 奥会津振興センター内
〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933
TEL:0241-42-7125 Email:tdrsk@okuaizu.net

ホームページ



令和7年度奥会津7町村文化施設間連携事業

川からたどる、
奥会津の昔といま。

企画展

奥会津の川

2025年

7月19日(土)

会期開始

尾瀬写真館美術館 7月19日(土)―11月3日(土)

ただみ・モノとくらしのミュージアム 7月19日(土)―11月16日(日)

ただみ・ブナと川のミュージアム 7月19日(土)―12月1日(月)

ふるさと館田子倉 7月19日(土)―12月1日(月)

奥会津博物館 7月19日(土)―11月30日(日)

奥会津博物館南郷館 7月19日(土)―11月30日(日)

やないづ縄文館 ～土器とくらしのミュージアム～ 7月19日(土)―10月26日(日)

やないづ町立斎藤清美術館 6月21日(土)―8月31日(日)

三島町交流センター山びこ 7月19日(土)―9月28日(日)

東北電力奥会津水力館「みおり」 7月19日(土)―9月28日(日)

からむし工芸博物館 7月19日(土)―11月9日(日)

主催：只見川電源流域振興協議会 共催：檜枝岐村、只見町、南会津町、柳津町、三島町、金山町、昭和村及び当該教育委員会
後援：福島民報社、福島民友新聞社、(株)ラジオ福島、ふくしまFM、(株)エフエム会津、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、NHK福島放送局、河北新報社
協力：福島県立博物館、佐久間建設工業株式会社、東北電力株式会社社会津若松支社、電源開発株式会社東日本支店田子倉電力所

本事業は「電源立地地域対策交付金」により実施しています。

企画展

奥会津の川

7町村11施設で開催

各施設でのデジタルスタンプラリーも同時開催しておりますので、ぜひこの機会にお楽しみください。

ただみ・モノとくらしのミュージアム 只見町



7月19日(土) — 11月16日(日)

〈時 間〉9:30～17:00 (最終入館16:30)
〈休館日〉毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)
〈観覧料〉無料

只見町には、国指定重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」を含む1万点以上の民具コレクションがあります。その中から、川の水を田んぼに引く灌漑(かんがい)に関連する民具、川魚を捕るための民具などを紹介します。同時開催の企画展は、絵画と民具のコラボレーション展です。企画展の中にある川の民具を探しながら、両展覧会をお楽しみください。

お問合せ 〒968-0602 福島県南会津郡只見町大字大倉字窪田30 TEL.0241-86-2175

ふるさと館田子倉 只見町



7月19日(土) — 12月1日(月)

〈時 間〉9:00～17:00 (最終入館16:00)
〈休館日〉毎週火曜日(祝祭日の場合は翌平日)
〈観覧料〉高校生以上310円(団体260円)
小中学生210円(団体160円)
未就学児無料 ※団体料金は20名以上
※ただみ・ブナと川のミュージアムと共通チケットになります

「ふるさと館田子倉」は、田子倉ダム建設により湖底に沈んだ田子倉集落の記憶を後世に残すことを目的に、皆川弥氏が自宅を改装し、私設の資料館として開設しました。現在は、只見町が弥氏の遺志を引き継ぎ、当館を取得、整備・公開しています。展示では、田子倉集落の歴史と文化、只見川の電源開発の歴史と地域社会の変貌について解説しています。

お問合せ 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字田中1299番地 TEL.0241-72-8466

奥会津博物館南郷館 南会津町



7月19日(土) — 11月30日(日)

〈時 間〉10:00～16:00
〈休館日〉毎週火曜日(祝祭日の場合は翌日)
〈観覧料〉一般300円

本館では、南会津郡檜枝岐村を源流とする伊南川の川魚漁に使用された道具を展示します。特に、産卵のために日本海から遡上してくるサクラマス捕る大型のヤスは一見の価値があります。昭和時代になり、阿賀野川水系に発電用のダムが次々建設され、サクラマスはしだいに遡上できなくなりましたが、この展示をとおし、山と陸が川を通じてつながり、河川生態系が豊かであった頃思いをはせていただければ幸いです。

お問合せ 〒967-0631 福島県南会津郡南会津町界字川久保552 TEL.0241-73-2829

尾瀬写真美術館 檜枝岐村



7月19日(土) — 11月3日(土)

〈時 間〉9:00～17:00 (最終入館16:00)
〈休館日〉毎週水曜日(夏休み期間は無休)
〈観覧料〉無料

ここ檜枝岐村は、会津駒ヶ岳と燧ヶ岳、帝釈山に囲まれた会津地方南西部に位置する奥会津の最上流部の村。ここを流れる檜枝岐川は自然と私たちの暮らしをつなぐ大切な存在で、夏は観光資源として多くのお客様を呼び込み、冬は川から引いた水路が雪を押し流し、除雪を助けてくれます。このような奥地の環境にあって、決して豊かとはいえない生活の中、私たちが一千年近く村を継続できているのは、この川のおかげである。

お問合せ 〒967-0500 福島県南会津郡檜枝岐村字左通124-6 ミニ尾瀬公園内 TEL.0241-75-2065

ただみ・ブナと川のミュージアム 只見町



7月19日(土) — 12月1日(月)

〈時 間〉9:00～17:00 (最終入館16:00)
〈休館日〉毎週火曜日(祝祭日の場合は翌平日)
〈観覧料〉高校生以上310円(団体260円)
小中学生210円(団体160円)
未就学児無料 ※団体料金は20名以上

只見町ブナセンター企画展「豪雪に育まれた豊かな川辺の生態系」越後山脈に位置し、日本有数の豪雪地帯にある只見町。長い年月をかけて豪雪や雨水の浸食を受けて出来上がった大小様々な溪流・河川の周辺は、生物多様性の宝庫となっています。本企画展では、只見町の生命の源ともいえる川辺について展示・解説します。一体どんな溪流・河川があるのか、川辺にはどのような森林が発達し、どのような野生動植物がいるのか、さらには人の暮らしとの関りを共有します。

お問合せ 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2590番地 TEL.0241-72-8355

奥会津博物館 南会津町



7月19日(土) — 11月30日(日)

〈時 間〉9:00～16:00
〈休館日〉会期内無休
〈観覧料〉大人300円(団体250円)
高校200円(団体150円)
小・中学生100円(団体50円)
※団体料金は20名以上

奥会津では古くから昭和時代前期頃まで、木材を藤蔓で筏に組んで、伊南川・只見川・阿賀川・阿賀野川を利用し、新潟まで運んでいました。本展では、明治時代後期から大正時代初期にかけて筏流送業を展開した「伊南木材共同組」という会社の資料を展示します。さらに、ほぼ原寸大の筏の模型も展示します。この展示をとおし、川の流れを利用した筏流送業についての理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ 〒967-0014 福島県南会津郡南会津町糸沢字西沢山3692-20 TEL.0241-66-3077

やないづ縄文館 ～土器とくらしのミュージアム～ 柳津町



7月19日(土) — 10月26日(日)

〈時 間〉9:00～16:00
〈休館日〉1階 展示スペース 無休
2階 収蔵庫部分 不定休
〈観覧料〉無料

線刻のある切目石鍾(会津若松市坊主山遺跡)

今年度の企画展では、只見川・阿賀川(阿賀野川)流域および猪苗代湖周辺の縄文時代の遺跡から出土した漁撈具(網漁具)などを中心に展示します。只見川上流域と河口に近い阿賀野川の下流域、そして湖である猪苗代湖周辺の漁撈具では全く様相が異なります。急流・緩流・静水…それぞれの地域の縄文人が、居住地に近い川や湖の特性に応じて様々な漁撈具を作り、使用していた様子をご覧ください。

お問合せ 〒969-7201 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙151 TEL.0241-42-3511 (柳津町中央公民館)

やないづ町立斎藤清美術館 柳津町 ※先行開催中



6月21日(土) — 8月31日(日)

〈時 間〉9:00～16:30 (最終入館16:00)
〈休館日〉毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〈観覧料〉大人510円(団体410円)
高校・大学生300円(団体200円)
中学生以下無料 ※団体料金は15名以上

気体にも固体にも姿を変え、恵みも災厄ももたらす、水。これほど身近にありながら、とらえどころのない物質を表すために、古今東西の芸術家が心血を注いできました。斎藤清もその一人です。雲母(きら)摺り、木目・彫り目、余白、墨。まさに水のごとく変幻自在の表現技法から生まれた、多彩なイメージ。特に、雲母摺りによる水の描写は、印刷物では分かりません。ぜひ実物をご覧ください。

お問合せ 〒969-7201 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙187 TEL.0241-42-3630

東北電力奥会津水力館「みお里」 金山町



7月19日(土) — 9月28日(日)

〈時 間〉10:00～16:30 (最終入館16:00)
〈休館日〉毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〈観覧料〉無料

人々の暮らしと川とは分かちがたいもの。食物の恵みはもちろん、交通・運搬の要でもありました。さまざまな魚とりの罟や道具のほか、渡し舟や材木運搬、川口高校ポート部の写真などを展示します。写り込んだ岸辺の様子や後景にもご注目を。実際に使われた民具や、生き生きとした写真から、かつての暮らしや、ダムによって変化した川の姿と人々の関わり方、そして今に続くものがきっと見えてきます。

お問合せ 〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字上居平933 TEL.0241-42-7771

三島町交流センター山びこ 三島町



7月19日(土) — 9月28日(日)

〈時 間〉9:00～17:00 (最終入館16:30)
〈休館日〉毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)
〈観覧料〉無料

三島会場では、200年ほど前に大雨と山崩れにより川が塞ぎ止められ一時的に水没してしまった村の災害時の絵図、橋が架からない頃にあった川の兩岸を渡るための舟・木材の流送・魚を獲る築場などに関する古文書、昭和21年(1946)に完成した宮下ダム、その完成前後の只見川の風景を撮影した写真など、町内を流れる川に関連した、江戸期から昭和期までの古文書や、昭和期の古写真を中心に展示し、歴史的側面から川を捉えます。

お問合せ 〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418 TEL.0241-52-2165

からむし工芸博物館 昭和村



7月19日(土) — 11月9日(日)

〈時 間〉9:00～17:00 (最終入館16:30)
〈休館日〉不定休
〈観覧料〉高校生以上300円(団体250円)
小中学生150円(団体100円)
※団体料金は20名以上

昭和村は、福島県の西部に位置する1,000m級の山々に囲まれた農山村です。この山々を源流として、野尻川と滝谷川があり、周囲には豊かな自然が広がります。戦前は、野尻川の支流である玉川に発電所が設けられるなど、村の人々には欠かせない川でしたが、何度も水害が起き、畏怖の対象でもありました。企画展では、川にまつわる様々な展示を通して、皆様に昭和村の「川」を知っていただく機会をご提供できればと思います。

お問合せ 〒968-0215 福島県大沼郡昭和村大字佐倉字上ノ原1 TEL.0241-58-1677

奥会津

いとなみ探訪

デジタルスタンプラリー

期間 7.19土-11.16日

対象エリア
柳津町/三島町/金山町/昭和村/
只見町/南会津町/檜枝岐村

※事業は電源立地地域対策交付金により実施されています。

巡るたび、
深まる。

知るたび、
楽しい。

参加方法

STEP 1

デジタルマップから
行きたいスポットを探そう！

STEP 2

参加スポットに設置してある
二次元コードを読み取る
とスタンプ獲得！

※一部、GPSを利用してスタンプを
取得するスポットがございます。

STEP 3

取得したスタンプ数などに
応じて応募すると抽選で
賞品が当たる！

会津ならではの
素敵な商品が当たります！

※スマートフォンでのご参加をお願いいたします。
※必ず同一ブラウザをご使用ください。
※スタンプラリー参加につきましては注意事項・利用
規約をご確認ください。
※GPS機能対応ですが、電波圏外では二次元コードで
参加可能です

主催：只見川電源流域振興協議会